

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成27年度)

2. 分野等別状況 (2) 地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野(2/9)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
レアメタル等リサイクル資源特区 (秋田県)	正	4.7	5.0 進捗度 ・特区に搬入されたリサイクル対象となる家電等金属系使用済製品の回収量(秋田県内) 135% ・特区に搬入されたリサイクル対象となる金属系使用済製品(廃基板等の副産物を含む)の搬入量(国内、アジア地域) 129%	4.2 規制の特例等 ・産業廃棄物管理票(マニフェスト)の送付期限緩和 財政支援等 ・廃太陽光発電パネルの広域収集網の構築に係るモデル事業 等 地域独自の取組 ・環境調和型産業集積支援事業 等	4.8	<ul style="list-style-type: none"> ・国及び地域独自の支援措置、技術開発等を活用して事業の推進が図られ、平成28年度の目標を前倒しで実現するなど、数値目標を十分に達成している。 ・今後は、リサイクル産業の国際競争力を付けていく上でも、リサイクル後の製品の品質向上等にも取り組むことを期待する。 ・総合特区の本来の目的である循環事業の強化や、新しい関連産業の創出及び雇用の経済効果等についての評価も追加的に行うことが求められる。 ・また、回収費用をいかに削減できるか、付加価値の高い金属資源の回収率をいかに高められるかなど、リサイクルの効率化と潜在的な金属資源回収に向けた取組の推進を今後も期待したい。

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。